

乳がん検診を受けられる方へ

女性のがんの中で最も多いのは乳がんですが、早期発見・早期治療すれば95%以上が治る病気です。早期発見のために定期的な乳がん検診を受けて、乳がんから命を守りましょう。

乳がん検診には以下の2種類があり、松江赤十字病院では両方の検診に対応しています。



乳がん検診 (松江市)

松江市からの委託で公的な費用助成があります。(詳細は広報等参照ください)

対象 = 松江市に住所のある女性

検査 = マンモグラフィ (乳腺エコー検査はありません)

<40~49歳> : 2方向撮影 ・ <50歳以上> : 1方向撮影



乳房ドック (松江赤十字病院)

自己負担で受ける検診です。当院では下記のコースをご用意しています。

松江赤十字病院
乳房ドック

マンモグラフィ (2方向) + 乳腺エコー **9,900円**(税込)
<35歳以上の希望者>

マンモグラフィ (2方向) **6,600円**(税込)
<35歳以上の希望者>

乳腺エコー (超音波) **4,125円**(税込)
<35歳未満の希望者、当院乳腺外科から乳腺エコーのみの指示がある方>

松江市の乳がん検診と当院の乳腺エコーを組合せ希望の方は、松江赤十字病院健診センターへお問い合わせください。

<ご予約・お問合せ>



休診日を除く平日 9:00~16:30

松江赤十字病院 健診センター ☎(0852)61-9245・61-9246

1 乳がん検診とは

対策型と任意型の2種類があります。

対策型は、集団検診とも言われ、がんを早期に見つけ、検診の対象となる人たちの死亡率を低下させることが目的です。

任意型は、自分の希望で行う検診です。ほとんどの場合、定期的に検診を受ければ早期発見につながり、適切な治療によって9割以上の方で治癒が期待できます。そのために大切なのが検診です。

2 利益・不利益

マンモグラフィ検診は、乳がんの死亡率を下げる事が証明されています。さらに乳腺エコーを追加することで、マンモグラフィだけでは見つけにくい乳がんを見つけることが出来る場合があります。しかし、がんではない良性の変化（放置していても問題ないもの）も見つかり、精密検査が必要となるため身体と心への負担が大きくなる可能性があります。

現時点では、早期発見のためには、マンモグラフィの定期健診と月に1回の自己検診、人によっては乳腺エコーを加えることがよいとされています。

3 乳がんにかかりやすい人とは

乳がんのリスク要因としていくつかのことがあげられますが、複数の要因が重なって発症すると言われています。

- 初経年齢が早い
- 閉経年齢が遅い（55歳以上）
- 出産経験がない、初産年齢が遅い
- 閉経後の肥満
- 授乳経験がない
- 良性の乳腺疾患になったことがある
- 親、姉妹、子など血縁者に乳がんになった人がいる
- 飲酒・喫煙の習慣がある



これらのリスク要因は、食生活の欧米化とも関連があるといわれています。

乳がんに限らず、「がん」を遠ざけるために規則正しい生活、喫煙やアルコール摂取を控える、バランスの良い食事、適度な運動、適正体重を保つことが大切です。

4

当院の検診内容

年代によって検診の内容が変わります。

35歳以上の方

- ・ 1～2年おきのマンモグラフィ検査
- ・ 乳腺濃度の高い方には、乳腺エコーの併用を勧めている。
- ・ 月に1回の自己検診

35歳未満の方

- ・ 月に1回の自己検診
- ・ 基本的には、乳腺エコーのみ行う



5

マンモグラフィと乳腺エコーの違い

マンモグラフィと乳腺エコーは、お互いの短所を補い合います。

	マンモグラフィ	乳腺エコー
特徴	乳房を挟んで、撮影します。 腫瘍（しこり）や小さな石灰化を手掛かりに病変を見つけます。	乳房に器具をあて、超音波の力で、乳房内部の様子を写し出します。特にしこりを見つけることに有用です。
長所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手で触れることの出来ないしこりを発見できる ・ 石灰化（早期がんの手がかり）を見つけることに有用である ・ 以前に撮ったマンモグラフィと比較が出来る ・ 全体像の記録が残せる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被爆がない ・ 高濃度乳房でもしこりを発見しやすい ・ リアルタイムで検査結果を見ることが出来る ・ 痛みがない
短所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被爆がある ・ 妊娠、授乳中の方は検査できない ・ 若い女性は、しこりや石灰化が見つけにくい ・ 挟むときに軽度の痛みがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石灰化が見つけにくい ・ 検査を行う、医師あるいは技師の検査能力に依存する ・ 全体像の記録として残すことが難しい

言葉の意味

石灰化とは … 石灰化とは、乳腺内やがんにできるカルシウムの結晶です。

多くは良性ですが、中には悪性病変のために起こっていることもあります。ただし、石灰化以外の所見がない場合は、悪性であっても非常に早期であることがほとんどです。早期がんの手がかりになるために要精密検査になることがあります。

高濃度乳房とは … 日本人は、乳腺の濃度が高い人が多いです。マンモグラフィでは、正常の乳腺は白く写りますが、がんも白く写るため病変が見つけにくく、診断にはマンモグラフィより乳腺エコーが有効です。

6 乳がん検診の対象とは

乳がん検診の対象は、

- 自覚症状のない方
- ペースメーカーの植え込み
豊胸術
VPシャント術
- 40歳以上の方（当院は35歳以上から）

を受けた方で、乳腺外科を受診し検査方法の指示がある方

- 自覚症状がある方
- ペースメーカーの植え込み
豊胸術
VPシャント術

を受けた方で、乳腺外科からの指示がない方

乳腺外科外来を受診してください。

※妊娠、授乳中、断乳後半年以内の方は、検診に適さない時期です。断乳後半年以上経ってから検診を受けましょう。ただし、何か症状がある場合には、乳腺外科を受診してください。

7 若い方の乳がん検診について

若い方の乳がん発生率は、あまり高いものではありません。

若い方は、乳腺濃度が高く、マンモグラフィでは正確な判断が出来ないことがあります。

40歳以下では検診目的でのマンモグラフィは推奨されていません。

自己検診を行い、しこりや血性の乳汁分泌がみられるなどの症状があれば、乳腺外来を受診してください。

家族性乳がんが心配な場合は、検診でなく乳腺外科を受診してください。当院では35歳未満の方の乳がん検診は、乳腺エコーのみとしています。

8 要精査の意味とは

乳がん検診の「要精密検査」という結果は、乳がんという診断がついたわけではありません。もう少し詳しい検査ではっきりさせようという意味です。

乳がん検診を1,000人受けたとすると、要精査になった人は約50人、乳がんと診断された方は数人です。ほとんどの方が、乳がんではありません。

要精密検査では、乳がん検診でみつかった病変が、治療や経過観察が必要な状態なのかを診断するためのくわしい検査をおこないます。

乳腺外科外来の受診（予約）方法

～ 要精密検査の通知が届いたら ～

当院の乳腺外科外来を受診する場合

お送りした受診予約表を手元に準備いただき、健診センターに予約の電話をして下さい。

☎0852-61-9247（直通）
平日 14時～16時

乳腺外科外来の予約をお取りします。
火・水・木曜日の午前中の空いている枠で 予約をお取りします。
※乳腺エコーの検査を受けた方は、水・木曜日の午前中で予約をお取りします。

人間ドックの結果表、受診予約表、保険証、診察券（ある方のみ）を持って、初診受付で手続きをして下さい。

- ・ 2階のGブロック乳腺外科受付にお声掛け下さい。
- ・ 問診表をお渡ししますので、記入して下さい。記入後、看護師が確認に伺います。

追加の検査がある場合は、診察の前に検査を受けていただきます。

診察があります。
1日で結論が出ない場合があります。その際は、何度か通院していただくこととなります。

他院で精密検査を受けられる場合

精密検査依頼状を郵送します。

- ・ 他院受診時に当院の結果報告書と精密検査依頼状をお持ちください。
- ・ 予約は、ご自分でお取りください。
- ・ 検査画像データが必要かを確認して下さい。

- ・ 検査画像のデータが必要な場合は、松江赤十字病院 **地域医療連携室**にご連絡下さい。

☎0852-24-2111（代表）
平日 13時～18時



松江赤十字病院ピンクリボン運動
マスコットキャラクター
「ピボンちゃん」

乳がん検診についてのQ&A

Q1 乳房エコー（超音波検査）とマンモグラフィ、どちらを受けたほうがいいですか？

A 基本的にはマンモグラフィですが、マンモグラフィと乳腺エコーそれぞれに長所と短所があるために両方を行うのがベストです。

Q2 しこり、血性の乳汁分泌などの症状がある場合は、検診を受けても良いですか？

A 症状がある方は、検診ではなく乳腺外科外来を受診してください。

Q3 妊娠中は、乳がん検診を受けることができますか？

A 妊娠中は、乳腺が張っているため、病変があってもわかりにくい状態であり、自己検診をお勧めします。ただし、しこりや痛みなどの症状がある場合は、乳腺外科外来の受診をお勧めします。

Q4 授乳中でも乳がん検診は受けられますか？

A 授乳中は、検査をしても判断しにくいいため、断乳後半年以上経ってから乳房ドックの予約をしてください。



Q5 マンモグラフィ検査で、放射線の被曝による危険はありませんか？

A 1年に1回のマンモグラフィ検査が、健康に害を及ぼすことはないとされています。



Q6 35歳未満ではどんな検査をすればいいですか？

A 通常マンモグラフィ検査は、結果の判定が困難であり、検査を受ける事での利益よりリスクが大きいため乳腺エコーが推奨されています。
当院では、**35歳未満の方は“乳腺エコーのみ”**とさせていただきます。

Q7 ペースメーカーの植え込み、豊胸術、VPシャント術を受けている場合、検診を受けることができますか？

A 撮影にリスクを伴うため乳腺外科で指示のある方のみ検査予約を受け付けます。まずは乳腺外科を受診し、撮影に伴うリスク等について説明を受け、医師と一緒に検診方法を検討してください。

Q8 抗凝固剤（ワーファリン、エリキュース、リクシアナ、プラザキサなどの血液サラサラの薬）を飲んでいたら乳がん検診を受けることができないのですか？

A 抗凝固剤を内服していても乳がん検診を受けることはできます。ただし、マンモグラフィ検査を受けたあと、希に内出血を起こすことをご了承の上、検査を受けてください。

マンモグラフィ検査を高い精度で行うために、日本乳がん検診制度中央機構で評価が行われ、認定証が発行されています。松江赤十字病院は、読影部門（医師）・技術部門（放射線技師）・施設画像評価（施設の設備）の全てにおいて認定を受けています。



乳がん検診のご予約は下記にお願いします。

松江赤十字病院 健診センター

TEL : (0852) 61-9246 平日：9時～16時30分まで